

2014年4月7日 掲載 物流ニッポン

考え実行でできる人間へ

第一貨物信頼される仕事しよう

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は1日、本社で入社式を開いた。70人の新しい仲間を温かく迎え入れるとともに、一日でも早く企業人、社会人として成長できるようエールを送った。

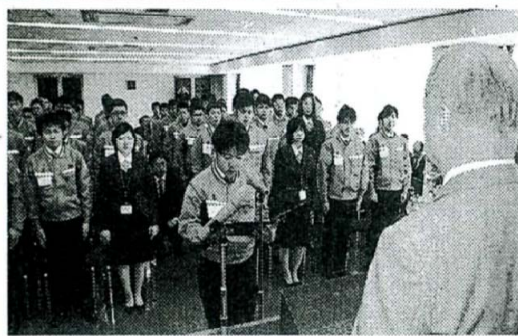
はじめに、職種(ドライバー、整備、事務)ごとに新入社員を紹介。一人ひとりが「安全運転を心掛け、模範となるプロドライバーになりたい」や「チームワークを大切にしてお客さまから喜ばれる仕事をしたいたい」などの目標や決意をそれぞれ表明した。

武藤社長は、「自分で考え、自ら実行する人間にな

って欲しい。当社のサービスは全社員力が一つになつて完結する。苦しく、つらい時もあるが、自分の未

来、将来をつくるための絶好のチャンスと捉え、企業人、社会人として成長してください」と激励。

また、トラックを取り巻く経営環境や業界再編の動きなどに触れながら、「経済の持ち直しで物量の需給バランスが是正されつつあ



武藤社長を前に新入社員代表が決意表明

るが、少子高齢化とドライバー不足などで対応が難しい状況にある。これからも厳しい企業間競争が続く

が、心一つにお客さまから信頼される仕事をしよう」と話した。

これを受け、新入社員代表の相沢一仁氏が「期待と不安で胸がいっぱいです。これから挫折感や無力感を味わうこともあると思いますが、どんな仕事にも全力で取り組んでいきます」と意欲を示した。

(富田久男)